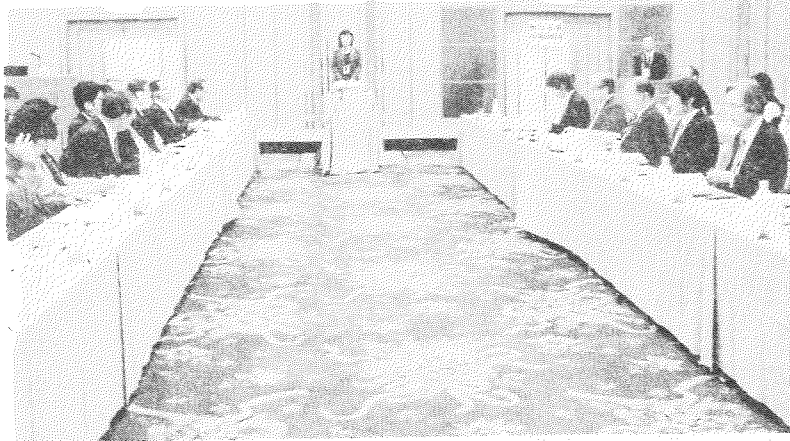


日韓教育大学長が交流

犬山 課題や研究成果を発表

日韓両国の教育大学 大が抱える共通課題の 学長によるフォーラムが13日、犬山市のホテルで開かれた。教育 研究の拡充を図る目



日韓教育大学長フォーラムであいさつする後藤ひとみ・愛知教育大学長(中央)＝犬山市のホテルで

的。2008年から両国で交互開催しており、9回目の今回は日本の11大学35人と韓国 の12大学31人が出席した。

開会あいさつで主幹校・愛知教育大(刈谷市)の後藤ひとみ学長は「日本では教育費のカットが指摘されているが、心を込めて教育に取り組めば、素晴らしい子どもを育てることができると信じて」と話した。韓国側代表のハ・ユンス釜山教育大総長は「教育による文化の多様性や普遍性の獲得を目指し、友情あふれるハイレベルの議論に取り組み、未来に輝く両国の教育の発展に寄与したい」と訴

えた。

研究発表と現状報告では、兵庫教育大と韓国の京仁教育大が「教員養成の高度化とコアカリキュラム」、福岡教育大と韓国の済州大が「日韓で交流すべき

教員養成プログラム」をテーマにそれぞれの取り組みなどを紹介した。

互理解に役立つ人材を育てたい」「グローバル教員養成のレベル向上に向け、教師交流を増大させる」などの発言があった。

【安西教雄】